

ムダ、ムリ、無謀。やめさせよう！40%出力試験。 国へ廃炉の準備を迫ろう。

ひずみエネルギーが蓄積された若狭湾の巨大地震が心配されています。なかでも活断層の真上にあり、活断層に囲まれた「もんじゅ」は、地震に弱く、プルトニウム放出の危険すらあります。

実質16年間も停止し、何の研究成果もあげられない研究開発段階の未成品に、即刻引導を渡すべきです。16年前の事故直前と同じ40%出力試験なんてとんでもない。これ以上の国費の無駄遣いを許さず、国と原子力機構に廃炉の準備を迫りましょう。

12/3(土) 2011もんじゅを廃炉へ！全国集会

●抗議集会と原子力機構申入れ …… 白木海岸 午前11時



JR敦賀駅前午前10時出発
貸切バス代往復1,500円

●もんじゅ廃炉を求める全国集会 …… 敦賀市プラザ万象 午後1時30分

講演



佐藤栄佐久さん(前福島県知事)

“フクシマ原発の真実”

プルサーマル凍結、欺瞞の原子力政策を衝く



海渡 雄一さん(弁護士・元もんじゅ訴訟弁護団)

“核燃料サイクルの終焉”

どれもが半端、もんじゅ・六ヶ所再処理・
プルサーマルの現状



小林 圭二さん(元京大原子炉実験所講師)

“再、再開はもっと危ない傷だらけの「もんじゅ」”

初歩的設計ミスの見直しを繰り返す旧動燃体質

●市中行進 …… プラザ万象～敦賀駅前 午後3時30分

★12/1(木)滋賀県内自治体申入れ★12/2(金)福井県内自治体申入れ★午後4時30分 全国交流集会(敦賀商栄会館2F)

全国集会に賛同してください

郵便振替口座 00760-6-50628 原発反対福井県民会議 もんじゅを廃炉へ！全国集会賛同費
個人賛同費／一口1000円以上 団体賛同費／一口5000円以上

2011もんじゅを廃炉へ！全国集会実行委員会

呼びかけ団体■原子力発電に反対する福井県民会議 / 原水爆禁止日本国民会議 / 原子力資料情報室 / ストップ・ザ・もんじゅ / 反原発運動全国連絡会
連絡先■原子力発電に反対する福井県民会議 〒910-0859 福井市日の出3-9-3 TEL/FAX 0776-25-7784
福井県平和センター TEL 0776-21-5321 FAX 0776-27-5773

もんじゅを動かしてはいけない。

◎高速増殖炉もんじゅの超危険性は、軽水炉原発（国内54基）の比ではない。

燃料プルトニウムの猛毒性

1gで25才喫煙男性440万人をがん死に至らす人工の猛毒物質。毒性の半減期は24,000年で半永久、フクシマで大量放出されたセシウムの比ではない。もんじゅの炉心に1.4.tも詰め込み、増殖する。

核兵器の材料でもあるため情報は極秘。国内の輸送情報も非公開。事故隠しや隠ぺい体質がまかり通る。

扱いが難しい冷却材ナトリウムの危険

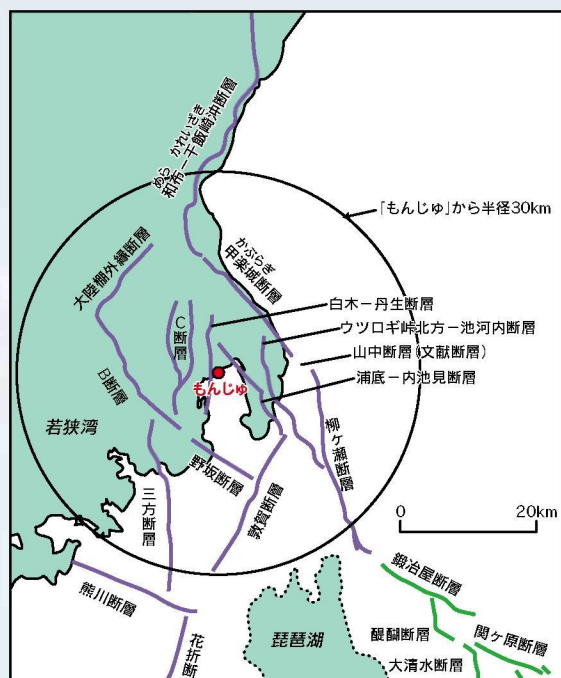
空気に触れると燃え、水に触れると爆発的に反応し、コンクリートをボロボロにする扱いが困難な物質。もんじゅでは1600tものナトリウムが配管を循環する。一部が漏れただけで1995年の重大なナトリウム火災事故が起きました。開発段階の高速増殖炉では、これまで世界中でナトリウム漏えい事故が頻発し、取扱いが困難な技術であるため、米、英、独、仏はすでに撤退しています。

あらゆる事故が核暴走につながり、炉心崩壊の危険

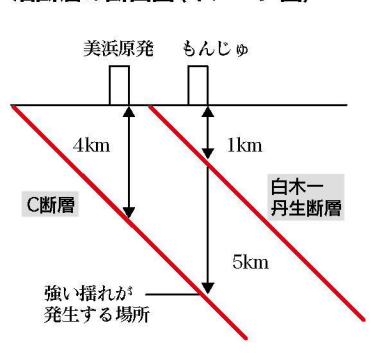
熱で燃料が曲がる、異物が混入して一部燃料棒が溶ける、泡が混入する、蒸気発生器伝熱管破損などの事故でも、核暴走につながる危険があります。「軽水炉では起こらない」とされる核暴走が始まると、加速し核爆発が連鎖的に起こる炉心崩壊事故は、プルトニウムの原子炉外放出で、日本列島の半分が居住できない地域になる恐れも。

地震に弱い原発

500℃のナトリウムが循環している軽水炉より大きい配管は、厚みが軽水炉の70ミリに比べ11ミリで薄く、長く蛇行し、外部の衝撃(地震)を受けると破損しやすい構造です。



美浜原発ともんじゅの直下にある活断層の断面図(イメージ図)



◎活断層の巣に囲まれ、真上に立地するもんじゅ

敦賀半島は文字通り活断層銀座。「もんじゅ」直下をM6.9の活断層が2本も走っています。敦賀原発、美浜原発にもサイト直下に活断層が。

若狭湾一帯は、ひずみエネルギーが蓄積された空白地域で、地震学者が「浜岡と若狭湾岸原発群の原発震災は首都、中京、京阪神を滅亡させる恐れがある」と警告。

◎設備だけではない、初歩的設計ミスの見直しを繰り返す原子力機構の組織の劣化

16年前に起きた火災は、ナトリウム検知器の初歩的設計ミスを見過ごしたのが原因でした。14年後の再開準備中に起きた大量のナトリウム漏えい検知器誤作動は、安全性総点検から漏れて点検しなかったのが原因でした。再開直後に起こした炉内中継装置の落下事故は、燃料交換つまみ具のねじのゆるみを見過ごした初歩的ミスでした。

「設計ミスの見直しは、どこに潜んでいるかわからない」(安全委事故調査報告書)うえ、再開早々、制御棒の操作を間違えるなど原子力機構の組織的劣化も大きな問題です。

◎停止中も1日5500万円、もんじゅに費やした1兆3300億円の税金のムダ

2009年度までに建設費と維持管理費、燃料費合わせて1兆3300億円が費やされ、何らの研究成果もあげていません。文部科学省は、来年度も215億円を予算要求しています。

高速増殖炉の実用化は、いつになっても実現できない幻であり、国費の無駄遣いです。深い傷を負った「もんじゅ」の廃炉こそが急務です。核燃料サイクル政策を初めから見直す時です。